

神学校のカリキュラム・授業改革について

校長 吉田 隆

主にある皆様、いつも神学校のことを覚えてお祈りとご支援をいただき、心より感謝申し上げます。神学校ではこれまでも、より良い教育のために改革を繰り返してきましたが、2025年度（2025年4月）から以下のような変更をすることになりました。

1. 3学期制から前期・後期の2学期制に移行します

- ・前期は4月～10月（7・8月は夏期伝道）、後期は11月～3月です。
- ・科目を再編統合し、同時に講師陣の世代交代をも視野に入れます。
- ・試験期間が年に2回となることで、年間授業週が現在の28週から35週となります。

2. 通常の授業時間を変更します

- ・一コマ50分から90分に変更し、基本的に授業は一日三コマ。説教演習やゼミの日を除いて、午前中で終わりになります。

3. その他

- ・オンライン授業（公開）を始めます。
- ・後期の開講講演会を11月3日（祝日）に行います。
- ・チャペルの時間を30分から40分に変更します。

これらの変更の目的は、以下のとおりです——

イ. 授業時間にゆとりを与え、より充実させる

- ・従来の3学期制では、学期によって（諸行事などのために）授業時間数が異なり、それによって教授内容に濃淡が生じていました。また、一コマも50分であったため、実に慌しい授業でした。それを2学期制かつ一コマ90分にすることで、一つ一つの授業に余裕をもって取り組むことができます。

ロ. より豊かな神学教育環境を実現し、神学校生活の魅力を高める

- ・基本的に授業を午前中で終わりとすることによって学生生活に余裕を作り出し、午後の時間を自主的な学びや祈り、仲間との交わりに費やすことができます。

ハ. その他

- ・以前から要望が強かったオンラインの聴講科目を設け、全国の皆さんにも聴講していただけるようにします。
- ・チャペルの時間をより充実させ、神の御前に静まり、御言葉の養いを受けます。
- ・後期の開講講演会を11月3日（祝日）にすることで、多くの方に参加していただけるようにします（前期の開講講演会は、入学式の午後）。

今後とも、福音の前進のために神戸改革派神学校が用いられるように、お祈りいただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。